



CMM-MBH8専用オプションキット

CMM-RSC 取付説明書

(RSコントローラーオプション)

株式会社ピービー © <http://www.pb-jp.com>
〒731-0103 広島県広島市安佐南区緑井3-4-29

商品お問い合わせ先：大阪オフィス support@pb-jp.com
〒561-0841 大阪府豊中市名神口3-7-3
TEL.06-6335-0805 FAX.06-6335-0807



構成部品 P1	取付車種別の初期設定 P3
安全に正しくお使いいただくために 接続するまえの準備 P2	車両コードとの接続 P4/P5

CMM-RSC(RSコントローラーオプション)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本オプションキットは単品では動作しません。必ずCMMシリーズに接続してご使用ください。

取り付けの前に、この取付説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付け作業を行ってください。指定以外の取り付け方法や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となることがあります。

この取付説明書を読み終わったあとは、必ず保管してください。

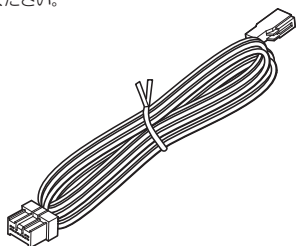
この製品の取り付けには、専門技術と経験が必要です。必ずお買い上げの販売店で取り付けてください。

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を必ず外して、配線作業をしてください。この指示を守らなかった事による車両の故障または破損等につきましては、当社では一切の責任を負いません。ご了承ください。

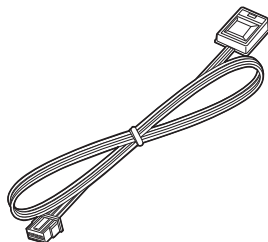
この説明書の指示を守らなかった事による事故、法律の違反、車両の故障または破損、製品の不具合等の賠償につきましては、当社では一切の責任を負いません。ご了承ください。

キット構成部品をご確認ください

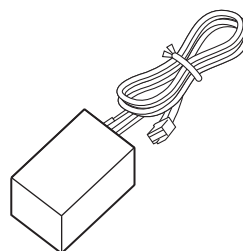
作業前に構成部品が揃っているか
確認してください。



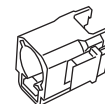
拡張メインハーネス
x 1



LED内蔵切替スイッチ
x 1



RSコントローラー
x 1



青色 1Pハウジング
x 1

※ 本取付説明書に記載の内容は、調査時のデータに基づいて作成されています。調査後に車両変更、車種追加などで取付情報が変わる場合がありますのでご注意ください。

※ 本取付説明書に記載の内容および仕様は、改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。また本取付説明書の一部または全部を無断で転用・転載することを禁じます。

※ FOR SALE IN JAPAN ONLY

安全に正しくお使いいただくために

この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

- 本品はDC12V仕様以外の車での使用はしない。火災の原因となります。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 本品を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。
- 取り付けた機器の音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することが無いよう注意して行う。火災の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して、機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用すると、制動不能や、発火、事故の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス⊖端子をははずす。プラス⊕とマイナス⊖経路のショートによる感電や怪我の原因となります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に機器の取り付けと配線しない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくこと事故の原因となり危険です。
- ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。
- 機器を分解したり、改造しない。事故、火災、感電の原因となります。
- 接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁する。ショートにより火災、感電の原因となります。

注意

- 本品の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。
- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したりしっかりと固定できず外れることがあり危険です。
- 車体のねじ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、埃、油煙の多い場所への取り付けは避けてください。機器に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- コードが金属部に触れないように配線してください。金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。
- しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。
- コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。
- 直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けないでください。機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。
- 機器の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 取付説明書で指定されたとおりに接続してください。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- 本品を車載用として以外は使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。

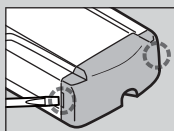
取付車種別の初期設定

👉 アドバイス

●取り付ける車種に合わせて必ず初期設定を行ってください。初期設定を行わずに接続すると本製品が正しく機能しません。工場出荷時はMBH8Aに設定してあります。

1 CMM 本体のキャップを取り外す

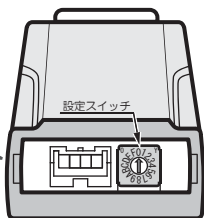
破線部分に細いマイナスドライバーを差し込み、キャップを手前に引き、取り外してください。



👉 アドバイス

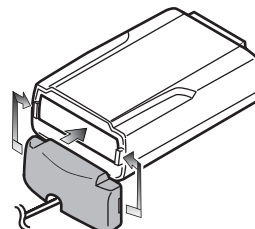
キャップを取り外すとき、キャップやケース、内部基板に無理な力を掛けたり傷付けないようにご注意ください。

2 初期設定を行う



取り付ける車種に合わせて表を選び、取り付け車種別の設定スイッチ (0~F) を表示図のように切り替えてください。

3 作業後はキャップをもとに戻す



オプションのLED内蔵切替スイッチを取り付ける場合は、キャップ下側中央部の溝にコードを合わせながらもとに戻してください。

MBH81



スイッチ設定

1

グレード	型式	適応年式(西暦)	備考
Cクラス	CBA/DBA-204***	'07/06 ~ '08/07	W204

メルセデスベンツ正規輸入車の日本仕様で、標準または、メーカーラインのHDDナビゲーションシステム装着車(一部取付できないグレードがあります。)

・セダンは運転席のSRSニーバッグ、パーキングアシストリアビューカメラが標準装着されていない車両。

・ステーションワゴンにはSRSニーバッグが標準装着されていない車両。

※接続には、別売りのCMM-RSC (RSコントローラオプション)が必要です。

👉 アドバイス

- 純正システムの脱着については、CMM-MBH8に付属の取付説明書の4ページをご覧ください。
- 車両コードとの接続については、この取付説明書の4~5ページをご覧ください。

MBH8A



スイッチ設定

A

グレード	型式	適応年式(西暦)	備考
Aクラス※1	DBA-176***	'13/01 ~	W176
Bクラス※1	DBA-246***	'12/04 ~	W246
Cクラス※2	CBA/DBA/RBA-204***	'08/07 ~	W204
CLAクラス	DBA-117***	'13/07 ~	C117
CLSクラス	CBA/RBA-218***	'11/02 ~	C218
Eクラス	CBA/DBA-212*** LDA/RBA-212***	'09/05 ~	W212
Eクラスクーペ	CBA/DBA/RBA-207***	'09/07 ~	C207
Gクラス	ABA-463***	'12/08 ~	G463
GLクラス	CBA-166***	'13/04 ~	X166
GLKクラス	CBA/RBA-204***	'08/10 ~	X204
Mクラス	CBA/RBA-166***	'12/06 ~	W166
SLクラス	CBA/RBA-231***	'12/05 ~	R231
SLS AMG	ABA-197377	'10/06 ~	C197
SLKクラス	DBA/RBA-172***	'11/07 ~	R172

メルセデスベンツ正規輸入車の日本仕様で、標準または、メーカーラインのHDDナビゲーションシステム装着車(一部取付できないグレードがあります。)

※1 A/Bクラスは、メルセデスベンツ正規輸入車の日本仕様で、標準または、メーカーラインのCOMANDシステム装着車(一部取付できないグレードがあります。)

※2 Cクラスは、運転席のSRSニーバッグが標準装着されている車両。

👉 アドバイス

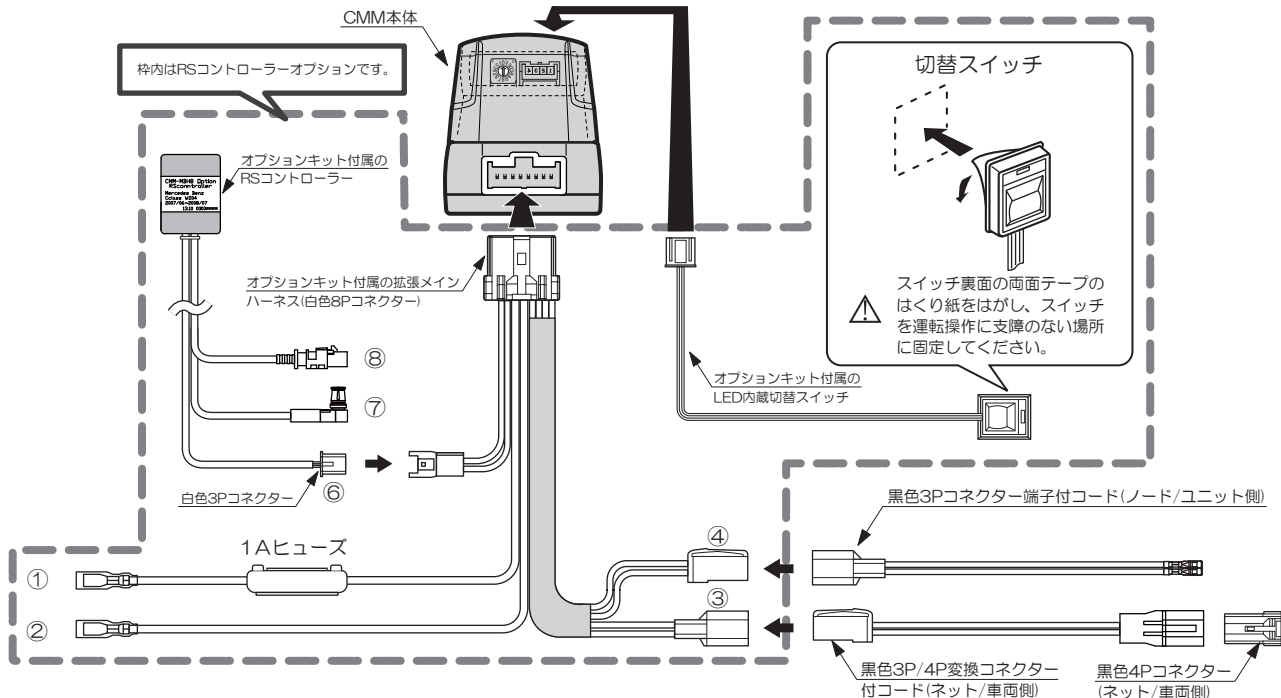
- 純正システムの脱着については、CMM-MBH8に付属の取付説明書の4~9ページをご覧ください。
- 車両コードとの接続については、CMM-MBH8に付属の取付説明書の10ページをご覧ください。

取付・接続のしかた その2[MBH81]

⚠ 注意

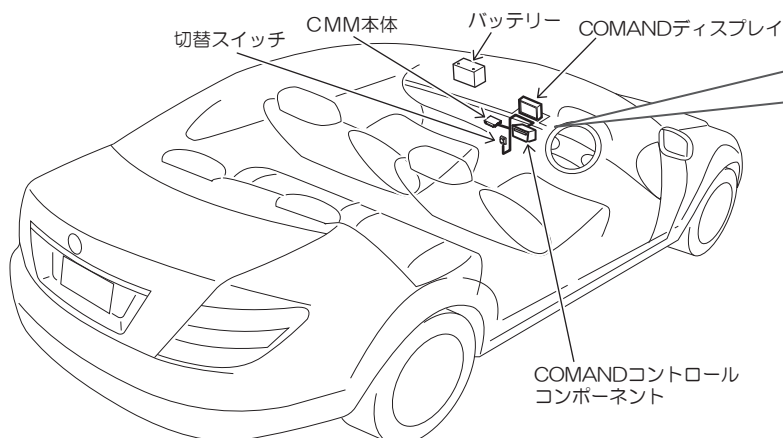
- 光ファイバーコードを傷つけたり、折り曲げたりして損傷しないよう、配線作業をしてください。損傷した場合、車両の故障・破損の原因になります。
- CMM本体と白色8Pコネクターの接続は、他のすべての接続が終わってから、バッテリーをつなぐ直前に行ってください。

接続概要図と電源コードの接続 [MBH81]

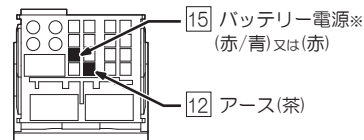


- ① バッテリー電源コード(黄)
COMANDコントロールコンポーネント黒色40P光ファイバーコネクターの15)バッテリー電源コード(赤/青)または(赤)に付属のスコッチロック(青)を使用して接続します。
[詳しくは下図“取付概要図と電源コードの接続”をご覧ください]
- ② アースコード(黒)
COMANDコントロールコンポーネント黒色40P光ファイバーコネクターの12)アース(茶)に付属のスコッチロック(青)を使用して接続します。[下図参照]
- ③ 黒色3Pコネクター(ネット/車両側)
付属の黒色3P/4P変換コネクター付コード(ネット/車両側)と黒色4Pコネクター(ネット/車両側)に接続し、COMANDコントロールコンポーネント黒色40P光ファイバーコネクター内の既設配線に接続します。[詳しくはこの取付説明書 5ページ“車両コードとの接続”をご覧ください]
- ④ 黒色3Pコネクター(ノード/ユニット側)
付属の黒色3Pコネクター端子付コード(ノード/ユニット側)と接続し、COMANDコントロールコンポーネントの黒色40P光ファイバーコネクター内に差し込みます。
[詳しくはこの取付説明書 5ページ“車両コードとの接続”をご覧ください]
- ⑤ 切替スイッチ
切替スイッチのコネクターをCMM本体に接続します。
- ⑥ RSコントローラー接続コネクター
オプションキット付属の拡張メインハーネスからの白色3Pコネクターに接続します。
- ⑦ COMANDコントロールコンポーネント青色2P同軸コネクター接続端子
COMANDコントロールコンポーネントの青色2P同軸コネクターNo.2同軸ケーブルと入れ替えます。[詳しくはこの取付説明書 5ページ“RSコントローラーの接続”をご覧ください]
- ⑧ COMANDコントロールコンポーネント青色2P同軸コネクターNo.2ケーブル接続コネクター
COMANDコントロールコンポーネントの青色2P同軸コネクターNo.2同軸ケーブルを差込みます。[詳しくはこの取付説明書 5ページ“RSコントローラーの接続”をご覧ください]

取付概要図と電源コードの接続 [MBH81]

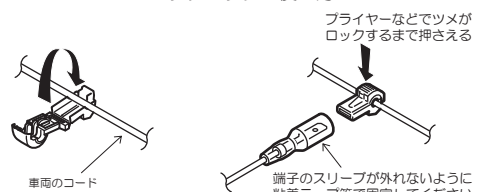


バッテリー電源/アースコードの接続



黒色40P光ファイバーコネクター
※サーキットテスターでバッテリー信号を確認してから接続してください。

スコッチロックの使い方



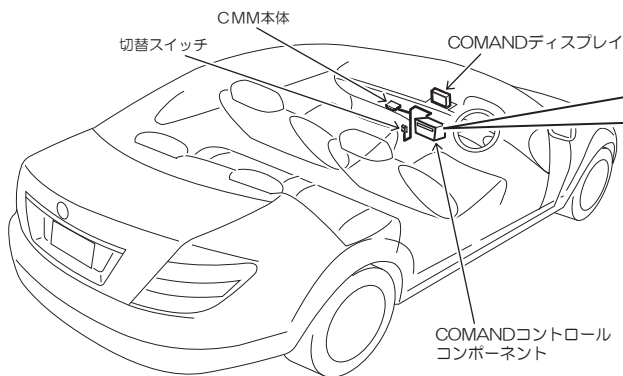
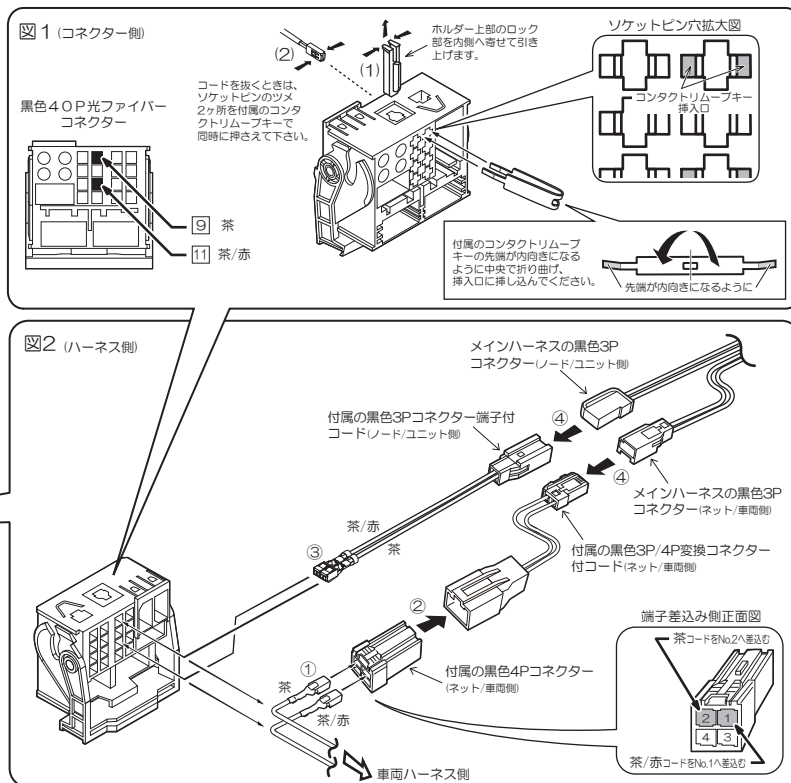
取付・接続のしかた その2 [MBH81]

⚠ 注意

- 光ファイバーコードを傷つけたり、折り曲げたりして損傷しないよう、配線作業をしてください。損傷した場合、車両の故障・破損の原因になります。
- CMM本体と白色8Pコネクターの接続は、他のすべての接続が終わってから、バッテリーをつなぐ直前に行ってください。

車両コードとの接続 [MBH81]

- ① 図1・2を参照し、COMANDコントロールコンポーネント黒色40P光ファイバーコネクタからホルダーを外し、**9**番の茶コードと**11**番の茶/赤コードをコネクタから抜きます。
抜いたコードを付属の黒色4Pコネクタ(ネット/車両側)の指示位置に差し込みます。
- ② 黒色4Pコネクタ(ネット/車両側)を付属の黒色3P/4P変換コネクタ付コード(ネット/車両側)に差し込みます。
- ※ コネクタ差し込み後、茶コードは茶コードと、茶/赤コードは茶/赤コードと接続されていることを確認してください。
- ③ 手順①で抜いたコードの入っていた同じ配線色の位置[図2参照]に付属の黒色3Pコネクタ端子付コード(ノード/ユニット側)2本を差し込みます。
入れ替えが終わったらホルダーを元通り差し込みます。
- ④ 各コネクタと拡張メインハーネスからの黒色3Pコネクタを接続します。



RSコントローラーの接続 [MBH81]

- ① COMANDコントロールコンポーネントの青色2P同軸コネクタNo.2のロックを浮かし、同軸ケーブルを抜きます。
次に、抜いた同軸ケーブルを青色1Pハウジングに差し込み、ロック板を押し込み、RSコントローラーへ接続します。
- ② ①で抜いた青色2P同軸コネクタNo.2にRSコントローラー同軸ケーブルを差し込み、ロック板を押し込みます。

